

通関士試験・通信添削研修



平成21年度受講生合格体験記集



(社) 日本通関業連合会研修事務局


第43回通関士試験が昨年10月4日(日)に実施されました。全国の合格率は一昨年度のそれより半分以下となる厳しいものでしたが、当連合会主催の昨年度通関士試験通信添削研修の受講生におきましては、今回も、数多くの方々が合格の栄冠を手にされました。そうした合格者のうち11名の方々に、お忙しい中、どのような状況から、如何にして合格に至ったかなど強い決意、勉強の仕方などを体験記としてまとめていただきました。新年にふさわしい新たな決意で、今年こそ合格をと考えておられる方々に、大いにご参考になるものと存じます。

	<h3>合格体験記</h3>	<p>は良いのですが、平日は仕事から帰って疲れや眠気に勝てず・・・ということもあり、結局一通り目を通すのに5月から7月頃までかかりました。その後は通信教材の問題集や添削問題などの問題をとにかく解き続けました。途中で一般に販売されている問題集を1冊追加し、何回も解きました。その中で、間違った箇所やうろ覚えの箇所はテキストをチェックし、まとめたノートに追記していくという方法を取りました。(試験直前は、自分の不得意な分野の問題を重点的に解きました。)</p>
<p>この度、第43回通関士試験に合格することが出来ました。去年の第42回の試験では実務問題であと一步届かず不合格だったため、今年はどうしても合格したい！という気持ちが強く、またどのように勉強をすればいいだろうかという不安と迷いが非常に強くありました。</p>	<p>鴻池運輸(株) 寺垣 美穂</p>	<p>試験当日は緊張と不安でいっぱいでしたが、後は自分が今までやってきたことを信じるしかない、と自分に言い聞かせ試験に臨みました。合格発表当日、自分の受験番号と名</p>

<p>前を見つけた瞬間、無事に合格できた安心感と嬉しさが胸がいっぱいになりました。</p> <p>通関士試験合格までには色々と辛いこともありましたが、それ以上の達成感を感じました。諦めずに勉強をしてきて良かったと思いました。</p> <p>最後になりましたが、このように勉強す</p>	<p>る機会を提供していただいた会社、応援、協力をしてくださった上司や先輩方、スクーリングや添削問題等でご指導いただいた日本通関業連合会の先生方、支えてくれた家族に深く感謝いたします。ありがとうございました。</p>
--	--

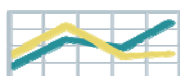
	<p>第 43 回通関士試験を終えて</p> <p>（株）阪急阪神エクスプレス</p> <p>中本 浩一郎</p>	<p>ようにはしました。時間にして、1日30分～1時間程です。一通り全てのテキストを読み終えたのが6月末頃でしたが、内容をしっかり理解しているかどうか不安であった為、もう一度最初から読み返す事にしました。同じく、主に通勤時間を利用しての学習で、2巡目を読み終えたのが8月末頃でした。その間、添削問題を何度か提出しましたが、何れもテキストで確認しながら、1問1問丁寧に解答していきました。</p> <p>しかし、9月初旬に行われた日本通関業連合会主催の模試では、「通関業法」こそ合格点に達していたものの、残りの「関税法その他」と「通関実務」では、全く点数が取れませんでした。その時初めて問題演習の大切さに気づき、すぐに付属の過去問題集に取り組み始めました。9月の1ヶ月間はひたすら問題演習に明け暮れました。特に市販の問題集は購入せず、兎に角、過去問題集をはじめ、提出した添削問題や社内の e-learning の問題等、過去に取り組んだ問題を中心に片っ端から復習しました。一度間違えたところは二度三度と正解するまで何度もトライしました。平日の学習時間はあまり変わりませんでしたが、休日は1日6時間程学習にあてました。特に今年は9月に大型連休があった為、その期間は集中して学習に取り組みました。</p> <p>【試験を終えて感想】</p>
<p>この度、第43回通関士試験に無事合格する事ができました。以下、簡単では御座いますが、私の合格体験記とさせていただきます。</p> <p>【受験する事となったきっかけ】</p> <p>所属は営業部署でありましたが、お客様より通関に関するお問い合わせを頂く機会が多かった為です。同じ勉強をするなら資格に結びつけた方がいいと思い、受験を決めました。</p> <p>【学習期間、学習方法】</p> <p>2009年4月半ばに日本通関業連合会のテキストが届きましたが、実際に勉強し始めたのは5月に入ってからでした。第1回添削問題の提出期限が迫っていた事もあり、まずは「通関業法」のテキストから読み始めました。意識した事は、「テキストを兎に角隅々まで読む事」と、「分からない箇所は時間を掛けてでも理解するまでじっくりと読む事」でした。平日は仕事があり、帰宅時間も遅かった為、通勤時間を利用して出来るだけ毎日テキストを読む</p>		

<p>試験を終え、学習の仕方として私が良いと感じた点を幾つか挙げてみたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テキストを隅々まで読んで理解を深める事。 ・ 早い時期に問題演習に取り組む事。また、間違えた問題は反復して学習し、知識として定着させる事。 ・ スクーリング時の先生方のチェック項目はメモをする事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法令改正で新たに施行された内容は特に注意して学習する事。 <p>また、試験の中心となる関税法から学習を始めると、通関と関税についての基本的な内容が最初に理解できるので、個人的に良かったと思いました。</p> <p>最後になりましたが、改めまして、お世話になった日本通関業連合会の先生方に深く感謝申し上げます。本当に有難う御座いました。</p>
---	---

	<h3 style="text-align: center;">合格体験記</h3> <p style="text-align: center;">リンコーコーポレーション(株) 有沢 洋明</p>	<p>ノートに書くことで、ある程度の内容は覚えることができました。申告書の作成については早目に出社して、1日1、2問の問題を行うようにしました。</p> <p>また、同時にスクーリングの受講と添削問題も行いました。スクーリングでは自分では殆ど勉強していなかった計算問題の解き方を教えてもらい、大変役に立ちました。添削問題は自分が現時点でどのくらいできるのか知るという意味でやってよかったのと、間違った箇所をできるまで何度も解いてみることで、弱点を克服できたと思います。</p> <p>8月頃には、その他実務の1科目以外は大丈夫だという感じだったので、そこからは計算問題や分類の問題を重点的に行いました。9月に行った直前集中講座での模擬試験ではあと少しという結果だったので、試験までの残りの期間も頑張ることができました。</p> <p>試験を受けてから発表までの期間がすごく長く感じましたが、その分、合格が分かった時はすごく嬉しかったです。合格できたのは長い期間継続して勉強することができたからだと思います。</p> <p>最後に通信添削やスクーリングでお世話に</p>
<p>第43回通関士試験に合格することができました。1回目の受験で合格することができてすごく嬉しかったです。また勉強を続けてきて良かったと思いました。</p> <p>私は平成20年7月に通関部署に異動となったことから、通関士試験を受けることになりました。その年の試験までは3ヶ月程しか日数がなかったことと、どうせ受けるなら1回で合格したかったので次回の受験ということで勉強を始めました。</p> <p>始めのうちは、一通りテキストの内容を読んでみましたが、慣れない内容だったこともあり、全然頭に入ってきませんでした。そこで重要だと思う箇所はノートに書くようにしたら少しずつ覚えられるようになりました。その後、過去問題集の問題を解いて、間違った箇所はテキスト等で確認し、</p>		

<p>になった講師の先生方に感謝いたします。 ありがとうございました。</p>	
---	--

	<p>合格体験記 愛知海運(株) 小林 寛</p>	<p>関税込率法ほかの知識の確認を行ない、7月からは通関実務の計算問題・分類問題・申告書を日本通関業連合会のテキストを中心として繰り返し学習することで、知識の定着を図ってまいりました。</p> <p>通関士試験は通関実務に限らず全ての科目で満遍なく（60%以上）得点する必要がある試験です。選択式・択一式共に、知識の理解による正確な語彙の記憶力が試験の合否を左右します。</p> <p>また、私の場合は日々の業務・出張などでまとまった勉強時間が取りにくい状態でしたので、出張の移動時間・業務終了後の1-2時間程度を勉強時間に充てることとなりました。今年の勉強では少ない時間であっても“集中する”“継続する”“習慣化する”ことで合格することができました。</p> <p>通関士試験を通じて（37歳にしてようやく）“勉強する習慣”を身につけることができました。折角身に着けた“勉強する習慣”を忘れぬよう日々の業務、新しい目標に取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>最後になりましたが、海外からの受験の機会を与えていただいた上司・先輩の皆様、試験前の土日は勉強に充てることで家族サービスも疎かになりがちでしたが応援してくれた家族に感謝いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>私は、現在、中国・大連市にある弊社独立法人である上海愛海国際貨運代理(有)大連分公司に勤務しております。</p> <p>通関士受験経験は日本で2回、海外赴任後1年目に1回、昨年・今年と続けて2回の3回、計5回となります。</p> <p>私の勤務する大連では日本人スタッフは1名であるため、中国での輸送・通関はもちろんのこと、日本到着後の輸送・通関に関する質問・問合せをお受けする機会が多くなります。</p> <p>物流業界に就職後、中国赴任までの8年間は船内荷役・国際輸送関連の業務を中心に経験を積んできた為、通関業務に従事した経験はありませんでしたが、お客様からの多様なニーズに対応する必要性により専門知識を体系的に習得したいと考え、通関士試験に挑戦することといたしました。</p> <p>昨年の受験では通関実務の「その他実務」をクリアできず不合格。</p> <p>今年は2月より基本書（通関士試験合格ハンドブック）と問題集を中心に関税法・</p>		



	<p>通関士試験 合格体験記</p> <p>日本通運(株) 中野 優子</p>	<p>ました。家で勉強していると1箇所に時間をかけてしまい、なかなか前へ進むことが出来ませんでした。無料で参加させていただいた2日間(×2回)のスクーリングでは、一通りは前に進むので全体を見ることができましたし、今年度の法令改正点も説明して頂けたので助かりました。</p>
<p>私が通関士資格を取得しようと思ったのは学生の頃より希望していた海外物流会社への転職です。就職活動は厳しく、一度は他業種に就職しましたが、諦めきれず、転職しようとした時に何かアピールできるものをと、この資格を勉強し始めました。</p> <p>当初はどの様に勉強をしたらいいのか分からず、高額ではありましたが、専門学校へ通うことにしました。しかし、転職等環境の変化もあり、きちんと通うことが出来ず、不合格。2年目は1年目に使いこなせなかったテキスト等独学で勉強しましたが、またしても不合格。3年目の今回は、社内で実施している通信教育に加え、日本通関業連合会の通信教育を受講させて頂き、外部からの刺激を受けつつ勉強することが出来ました。</p> <p>添削問題は本試験形式でしたので、早くから試験の形式に慣れることが出来</p>	<p>今回と今までの勉強の相違点は、本試験に近い環境で模擬試験を4回受けたことです。雰囲気にも慣れることが出来ますし、時間配分等を考える上でいい経験になったと思います。模擬試験で分からなかったところはテキストに戻って確認し、再び問題を解く、この繰り返しで徐々に試験に慣れることが出来ました。</p> <p>週末は家にこもって勉強、鞆の中には問題集、1年に1回だけしかないチャンスの為にこの半年を過ごしました。何をしているんだろう？と我に返ることもしばしばありましたが、模擬テストの帰りの仲間との語らいは私を勇気付けました。</p> <p>最後にお世話になった講師の方々、応援して頂いた職場の皆さん、一緒に頑張った同僚のみんなありがとうございます。合格と時を同じくして通関センターへ異動になり、これからがまた新たなスタートとして頑張ります！</p>	





通関士試験 合格体験記

(株) 日 新
上妻 義久

通関士試験を受け始めてから今回の試験が4回目で、それまで3回の受験は10月の試験に間に合うように勉強してきたつもりでしたが、合格には至らず悔しい思いをしてきました。今回は何が何でも合格するという気持ちがあったので、今年の1月から去年覚えた内容を忘れてしまわないよう勉強するようにしました。

今までは参考書を買って独学で勉強してきましたが、独学ではカバーできない部分を補うために日本通関業連合会で行っている通信添削研修を受講することにしました。テキストの内容が今まで市販されている参考書よりも広く事細かに網羅されていたので、とても役に立ちました。

1月から4月までは去年覚えた内容の復習を何度も繰り返しました。7月・8月になると試験が迫ってきて焦る体験を何度も味わってきましたから、そんな事が今年は起こらないよう知識が定着するように心掛けました。通関業法・関税法等を参考書中心にすべての内容を一通りこの期間にやりこなしました。

4月から7月までは新たに改定した法律の内容に注意しながら参考書と練習問題の勉強時間が1：1ぐらいの割合で進めていきました。また問題を解くときは

試験を仮想して、択一・複数選択問題は1問30秒以内・実務問題は1問10分以内と意識して解くようにしました。

7月から9月の間は練習問題と過去問題と品目分類における部・類・項の注を中心に勉強しました。通関業法・関税法等・実務を1：3：6ぐらいの割合で勉強しました。

通関士試験の2回目・3回目共に通関実務の試験で落ちており、実務試験の中でも申告書作成以外の後半15問の択一・複数選択問題が特に点数が取りづらいので計算問題・品目分類に関する問題は必ず点数が稼げるよう特に時間を費やして勉強しました。また通信添削研修の添削問題でマークシートを使用して問題を回答していたので、このマークシートも印をつける前にコピーをしておき、勉強の際問題を解くときはマークシートに印をつける時間も加味した上でスピーディな問題回答が出来るよう心掛けていました。

今まで3回受けた試験は緊張と不安で頭が真っ白のような状態になっていましたが、今年を受かりたいという強い気持ちで計画的に勉強を進めてきて、多くの勉強時間を費やしやりきった感があったので、試験当日も比較的落ち着いて試験に臨むことが出来ました。

試験には何とか合格することが出来ましたが、仕事をする上ではようやくスタートラインに立てた状態ではないので、今まで以上に仕事に責任を持って日々の業務に精進していきたいと思います。



合格体験記

ANA ロジステ
クスサービス(株)
矢野 圭一

この度、第43回通関士試験に無事合格する事ができました。

過去、通関士試験にチャレンジし自分の努力不足で悔しい思いをしてきました。今回こそ！と思い、日本通関業連合会主催の通信添削研修を受講し送付されてくる添削問題を締切り日までにきっちりこなし、過去問題集を何度も繰り返し勉強しました。また受験日までに2回行われるスクーリングにも積極的に参加し今年度の法律改正部分や、間違えやすい箇所等をわかりやすく教えていただきました。

そもそも私が通関という仕事を知ったのは就職してからでした。もともと飛行機が好きで学生時代は通関とは全くかけ離れた航空機整備の勉強をしていました。縁あって就職した会社の通関部署に配属され、そこで初めて通関業務を知りました。

今回の通関士試験の合格で身に染みて思った事は「日々の努力」です。最初の頃は、普段仕事をしていると勉強に時間を費やす事が出来ず、眠気や疲れに負けてしまう事も多く、あと何ヶ月もある大丈夫だと自分に甘えがちでした。しかし、そんな中、スクーリングに参加すると周りの人のテキストがボロボロで、周りの人の努力や必死さを痛感し、このままではダメだと思い毎日少しずつ勉強をしました。私の場合、自宅での勉強はテレビ等の誘惑にすぐ負けてしまうので捗らず、コーヒーショップや仕事が終わってからの会議室等を利用し勉強しました。

残り1ヶ月からはラストスパートをかけ過去問題集や模擬試験問題を繰り返しました。そして試験当日になりました。今までの努力を信じ受験に挑みましたが今回の合格率を見てわかる通り非常に難しく自信はありませんでした。結果発表当日、何気なく見た税関の掲示板に番号があり嬉しいよりホッとしました。連合会の先生方本当にありがとうございました。

これから受験される方にアドバイスですが試験当日の落とし穴は昼休みです。

午前中は集中力を保てますが昼食後の午後は集中力が欠け、なおかつ難関の通関実務です。最後まで集中力を保って頑張ってください。




通 関 士 合格体験記

山 九 (株)
北 剛史


まず、最初に私が通関士試験を受験した回数は6回です。長かったです。高


校卒業時に弊社に入社し、通関部門に配属となったわけですが、やはりプロとして仕事をするには通関士の資格が必要なので、毎年のように勉強し受けつづけてきました。何回も受験しているとモチベーションも下がり何度も嫌になりました。しかし、社内の先輩や私より先に合格した通関士の方々の頼れる仕事ぶりを見ていつか必ず取る！という気持ちで

<p>取り組んできました。今回6回目となり無事合格できたのは私だけの力だけでなく先輩方からの助言・励ましがあ家族や友人の支えがあったからだと思ひます。</p> <p>精神面や消極的な話ばかりになりましたが、私の勉強法は受験失敗に終わった5回とも、ひたすら過去問を解き、間違った箇所をひたすら書くという方法でした。本来ならこの方法で受かっていたのかもしれませんが。(現に社内の合格者はそんな話をしていました。)物覚えの悪い私なので、毎年のように同じ方法ではダメだと思ひ今年はやり方を変えました。まず、ノート作りから始め、通関業法・関税法・関税定率法の間違いやすい文章を全て比較できるようにノートを作りました。それこそ過去5年間に溜め込んだ知識の集大成です。あと</p>	<p>はやはり今までの過去問や日本通関連合会のテキストや模擬試験を何度も繰り返し行い間違えたところはノートに丁寧に書き、通勤途中の電車や昼休み中、寝る前など、何度も読み返し同じ間違いは二度としないようにしました。今年には本当にラストチャンスだと思ひひたすら自分を追い込みました。</p> <p>そして迎えた合格発表の日、官報に書かれた自分の名前を確認したときは言葉じゃ言い表せないほど嬉しかったです。何回も受験に失敗して偉そうなことはいえませんが、通関士の試験を楽しんで取るなんて事はありません。努力しなければ絶対受からない試験だと私は思ひます。努力した先には必ず報われると信じています。</p> <p>これから受験される方は強い気持ちを持って頑張ってください。今までたくさんの方々からそうしてくれたように、私もこれから挑戦していく人を応援したいと思ひます。</p>
---	---

	<p>通関士試験 合格まで 株近鉄エクス プレス 崎田 担</p>	<p>8割以上取れる知識をつけること、これを最終目標にしました。そして1ヶ月毎の計画、1週間の計画、最後に勉強するその日毎の計画を立てました。最終的な目標と一日ごとの目標を細かく立てることで何をすべきか明確になるので非常に良かったと思ひます。</p> <p>最初の3~4ヶ月は出勤の際の電車内でひたすら本を読み、慣れない言葉や数字を大まかに覚えていきました。大事なものは休むと決めた日以外は必ず少しだけでも勉強をすることです。継続的にやることで覚えられる内容は増えると思ひます。こうして言葉などを覚えたら次の段階へ進み、過去問題や通関業連合会の通信講座を利用して問題を繰り返し解いていきます。間違えた問題を徹底的に調べるのが非常に大事です。私の場合はマークシート方式にな</p>
<p>第43回の通関士試験に合格出来たことに対して私自身がどのように勉強に取り組み、どのような計画を立てたかをここに書かせて頂きます。</p> <p>『計画を練る』</p> <p>私は勉強が得意な人間ではなく、集中力が人一倍あるわけではないので勉強する期間を長めの8ヶ月に絞りました。8ヶ月後には過去の問題集全てで</p>		

<p>ってからの過去問題は5～6回ずつ程度解いていきました。こうした繰り返しをすることで確実に知識として頭に浸透させます。また、同時に法令改正のあった部分は必ず出題されているので、その点はどのような問題が出て解けるように勉強しておきました。こうして7ヶ月が過ぎていき、最後の1ヶ月に突入しました。最後の1ヶ月は体調管理をしつつ細かい部分を覚えて最終チェックをしていました。特に</p>	<p>過去問題で自分の苦手なところを自分でも理解していたので、苦手な箇所を何度も何度もやって確実なものにしていきました。最後の1ヶ月では無理に勉強に取り組むのではなく、復習や見直しに時間を使うことが有効的だと感じました。</p> <p>試験に向けてはメリハリをつけて勉強をする日、しない日を決めて綿密に目標を立てることでスムーズに勉強が進められると思います。</p> <p>最後になりましたが、皆さんの健闘を心からお祈りしております。</p>
--	---

	<p>通関士試験 合格体験記</p> <p>郵船航空 サービス(株) 萬賀 弘明</p>	<p>ばすことが得点アップへの最短距離と考え、得意な分野で確実に点を取れる箇所をいかに増やしていくかが大切であると思いました。</p> <p>②過去問題の活用…法令や参考書などの熟読は非常に大切ですが、通関士試験に関していえば過去問に勝るものはありません。全てを理解、暗記できることがベストですが、過去問を解くことで傾向を知ることが資格取得への早道です。</p> <p>以上2点が私の今回の合格要因だと考えていますが、やはり一番の要因は自分の身に合った勉強法、スタイルをいち早く確立することではないでしょうか。そして最後は自己暗示に近い「合格する」という気持ち大切です。日本通関業連合会の通信添削研修のスクーリング等に参加し、同じ目標を持った方々と学ぶことはモチベーションの維持にもつながりました。</p> <p>最後になりましたが、今回の受験をサポートしてくださいました会社の諸先輩方、日本通関業連合会の先生方、その他身の回りで支えてくださった方々にお礼を申し上げたいと思います。</p>
<p>通関業者で働いている私にとって通関士資格の取得は当面の大きな目標でありました。2度目の受験となった今回は早めの受験勉強開始の甲斐もあり運よく合格にたどり着くことができました。私の場合、幸いなことに通関実務の経験が多少なりありましたので、法令関係をどれだけ理解し、いかに合格に近づけることができるかが要点であると考えておりました。私が今回受験するにあたってポイントとした点等を紹介させていただきます。</p> <p>①得意科目をつくる…資格試験に合格するという目的、また6割という合格基準を考えると全てを網羅して理解する必要はありません。「好きこそ物の上手なれ」という言葉通り得意な分野を伸</p>		

	<p>通関士試験 合格体験記</p> <p>郵船航空 サービス(株) 小瀬垣 玲奈</p>	<p>順番どおりに記載されているため、知りたい情報が探し出しやすく、そこに書き込んでいくことで、自分流のテキストを作ることができたので、後の勉強にも役立ったと思います。</p> <p>また、通勤時間や空いた時間を利用して、片山立志著『どこでもできる通関士選択式徹底対策』で、穴埋め対策を行いました。穴埋め問題は、比較的点数の稼ぎやすい部分だと思うので、そこを確実な得点源とするため、早いうちから何回も繰り返し読み、暗記することが重要となってくると思います。</p> <p>試験の1~2ヶ月前からは、短い時間でも良いので毎日、自力で問題を解くよう心がけました。主に、通信添削問題、模擬試験、過去問題集等を使い、同じ問題を何度も繰り返し解くことで、知識を定着させていきました。間違いやすい自分の弱点を見つけたら、時間がかかったとしても、通関士六法で基本通達やその他法律の文面を直接見ていくことで、一つ一つ疑問をクリアにし、弱点を克服していくことが大事だと思います。</p> <p>通関実務に関しては、ありがたいことに、輸入通関を行う部署に在籍しているため、実際の業務と照らし合わせて考えることができたので、頭に入りやすく、問題に慣れるも早かったのではないかと思います。また、8月ごろから社内で開かれた勉強会に参加し、計算問題や課税価格の問題等を集中的に学んだことが、今回の合格へとつながったのだと思います。</p> <p>今回通関士試験を受験するに当たり、試験勉強と仕事の両立は、本当に大変なことだと痛感しました。しかし、短い時間でも</p>
<p>私が通関士試験を受験することとなったきっかけは、通関業者に就職し、通関業務を行う部署に配属されたことからです。同じ部署の先輩方が皆資格を持ち、通関士として責任ある仕事をされているのを見て、私も早く資格を取得し、先輩方のようになりたいという強い気持ちを持ちました。</p> <p>そのような中で、何から始めていいかわからず、気持ちだけが先走っていた私にとって大きな力となったのが、日本通関業連合会のスクーリングと添削問題でした。</p> <p>スクーリングは、テキストを順に追っただけでいきながら、ポイントを教えていただくというものでしたが、膨大な量のテキストの内容に一通り軽く目を通すことができ、通関士試験の概要を知ることができました。法改正部分や間違いやすい箇所をまとめたプリントも配っていただきましたが、とても見やすくわかりやすいものだったため、勉強を進める上で大活躍でした。</p> <p>概要を頭に入れた後は、テキストを見ながら問題を解き、解答をテキストの中から探し出し、マークをして書き込む作業を行いました。こうすることで、試験に出る部分＝大事な部分にマークがしてある状態になり、重点的に覚えるべき部分が表れてきました。</p> <p>日本通関業連合会のテキストは、法律の</p>		

<p>集中して取り組んでいけば、長い時間勉強している人にも引けをとらないと思います。</p> <p>これから勉強を始める方には、勉強をスタートしようという時から、通関士試験までの大まかなスケジュールを組んで、目標に向かって諦めずに勉強していただきたいと思います。</p>	<p>最後になりましたが、この場をお借りして、サポートしていただいた上司の方々、先輩方、通信教育・スクーリング等でご指導いただいた日本通関業連合会の講師の方々に、深く御礼を申し上げます。</p>
---	---

